

* GP 農法だより *

完全無農薬自然農法 元氣パワー農法

発行 GP農法研究会 NO18

代表 佐藤 隆

〒344-0041 埼玉県春日部市増富 243-53

TEL 090-4672-1285 FAX 048-763-5362

《GP米 の食味値や成分の検査結果！！》

埼玉県春日部市でGP農法を取り入れて生産した、2013年度産のお米を、埼玉みずほ農業協同組合で「CTA10A」による検査をしました。

GP米 検査 1

国産玄米	2013/09/18
No. 36/1~36 (n=36)	15:22
アミロース	18.3%
タンパク質	7.1%
水分	14.3%
脂肪酸度	16.5mg/100g
食味値	83 (A) point

GP米 検査 2

国産玄米	2013/09/25
No. 47/1~47 (n=47)	
アミロース	18.4%
タンパク質	7.4%
水分	15.0%
脂肪酸度	14.7mg/100g
食味値	81 (A) point

GP米 検査 3

国産玄米	2013/10/01
No. 2/1~2 (n=2)	14:50
アミロース	18.6%
タンパク質	7.4%
水分	13.1%
脂肪酸度	16.2mg/100g
食味値	80 (A) point

【食味値】 米の食味評価値で、数値が高い程美味しい。

~55	~60	~65	~70	~75	~80
劣	やや劣	普通	やや良	良	極上

実際に食べて評価する官能試験を基本として、その官能食味評価と米の内部構造の関連性を値に算出しています。

【アミロース】 デンプンの中におけるアミロースの占める割合を数値にしており、数値が低い程粘りがあり美味しい。高い程ご飯が固くなり美味しくない。

18	19	20	21	22
低・やや低	普通	やや高・高		

うるち米のデンプンは、アミロースとアミロペクチンで構成されており、もち米のデンプンにはアミロースがなく、アミロペクチンのみで構成されています。このデンプン中のアミロースの比率が低いほど粘りのあるご飯になります。

【たんぱく質】 米の中におけるたんぱく質の占める割合。数値が低い程、ふっくらとしたご飯が炊きあがる。

白米・ドライベース 15%換算

7.0	7.5	8.0	8.5	9.0
低・やや低	普通	やや高・高		

《GP米 2013年度産について》

埼玉県春日部市農民連埼玉葛支部では、4年前からGP農法を調査、研究しています。25年度の水稻栽培において、GP農法と慣行農法を比較してみました。



【稲の比較】

左:慣行農法 右:GP農法

- * 株の大きさ
同じ1株でも、GPの方が大きい
- * 根の大きさ
GPの方が大きく長く、しっかりしている
- * 根の状態
写真ではわかりにくいですが、GPの方は、根毛がいっぱいである。
- * 穂の茎と葉の色
GPの方は3週間後も緑色を保つ

【慣行農法】

稲株乾燥後	土中20cmほどの所から掘り上げた。4~5日目頃から茎・葉の緑色が消えた。
発酵テスト	4日目頃から悪臭が出た。

【GP農法】

稲株乾燥後	土中25cmほどの所から掘り上げた。3週間過ぎて乾いてからも、まだ「緑」が見られる。
発酵テスト	5日目頃から酸っぱい臭いが出た。
収穫量	反当り60kg袋で去年は5袋、今年6袋に増量

(2)

【2013年度産米を生産した土の簡易微生物テスト】



左:慣行農法 右:GP農法

2013年度産 GP米を生産したところの土を使って、簡易微生物テストをしました。

写真はセット後10日くらい経った状態ですが、GP農法の方は、依然として色が濃く、微生物・酵素が元気良く存在していることを意味します。

<考察>

- 1、除草剤・化学肥料は一切使用しない。病虫害の被害がなかった。
- 2、元肥は雑草エキスとモミガラボカシ（約1トン）を施肥。
- 3、約100倍希釈の雑草エキスを6回散布。
- 4、開花時に葉面散布は3回実施。これは穂肥の役割。
- 5、次年度は「田おこし」時に雑草エキス原液約200リットル/15aを流し込む。あと数回散布でよいのかもしれない。
- 6、雑草が本当に生えにくいのか、次年度検証したい。

戦後の農業は、60数年間にわたり、農薬と化学肥料を使用してきたため、土壌微生物が弱体化し様々な障害が多く出るようになってきています。田畑の土壌微生物が弱体化すれば酵素が減少し、パワーのある農産物の生産ができません。

加えて、弱体化した土壌に様々な病虫害が発生するため農薬の多用でさらに弱体化しているのが現状です。生産地を移動しなければならぬ地域もあり、事態は深刻です。

これからは「土壌の活性化」に意識をむけることが必要ではないでしょうか。

《 グローバルフェスタ2013 に参加 》

10月5・6日（土・日）、東京・日比谷公園内で、外務省共催・内閣府、総務省、農林水産省等の後援で開催された、グローバルフェスタに参加しました。

NPO 2050 のテント内で「**完全無農薬**」GP農法の野菜や慣行農法とGP農法の稲穂を展示しました。エネルギーのあるお米を使い、実際にパワーの有無を大勢の方にその場で体感してもらいました。

ネパール在住の方が興味をしめされ、フェスタの数日後、埼玉のGP農法の畑に実際に視察に來られました。

また大学で農業を勉強中の学生さんも、雑草エキスのサンプルを持ち帰り、実際にテストを試みるそうです。若い方々の農業従事が楽しみです



大勢の参加者の関心がありました



熱心に説明を聞く参加者

ホームページ 開設！！

URL <http://www.gpnouhou.jp/>

よくある質問など、これからまだまだ増設していきます。どうぞご覧下さい。